

日・アフリカ農業イノベーションセンター(AFICAT)
本邦企業向けタンザニア国スタディツアー（農業分野）
募集要項

2025 年 2 月

独立行政法人国際協力機構

AFICAT 調査チーム¹

タンザニア農業機械化アドバイザー

¹ アフリカ地域サブサハラアフリカ地域先進農業技術の導入を通じた農業機械化展開に係る情報収集・確認調査チーム

1. 背景

タンザニアの農業分野は主要産業の一つであり、国内総生産（Gross Domestic Product : GDP）に占める割合は 24.3%（2022 年）で約 1／4、農業に従事する労働者の割合は 64.3%（2021 年）で人口の多くが農業に従事しています。2021 年の農業生産量をみると、メイズ（704 万トン）、キャッサバ（613 万トン）、サツマイモ（499 万トン）、バナナ（359 万トン）、サトウキビ（352 万トン）、コメ（粳）（269 万トン）が生産されており、サツマイモは世界第 3 位、カシューは世界第 5 位（21 万トン）の生産量を誇っています。

タンザニアでコメはメイズに次ぐ主要穀物であり、その生産量は 2009 年から 2018 年の間に年 89 万トンから 228 万トン（白米換算）に急増し、SSA ではナイジェリア、マダガスカルに次ぐコメ生産国です。タンザニアではすでに国内需要は満たされており、東アフリカ地域内に対するコメ輸出国となっています。2021 年のコメ（粳）、白米の輸出額は、それぞれ USD 3 億 199 万、USD 2 億 8,039 万となっており、タンザニアの農作物の中では最大の輸出額となっています。

日本の約 2.5 倍である 94.5 万平方キロメートルの国土を保有し、2024 年に 6,758 万人の人口は 2054 年に 1 億 3,897 万人、2100 年に 2 億 6,169 万人に増加すると試算されています²。タンザニアは農業が盛んで、今後、国内市場の拡大といったポテンシャルが大きいものの、日本からの物理的な距離といった制約もあり、日本企業によるタンザニア進出は限定的です。海外進出日系企業拠点数をみても、中国が 31,324 拠点、タイ、インド、ベトナムは 5,856 拠点、4,901 拠点、2,373 拠点と、東アジア、東南アジア、南アジアの拠点数は多いものの、タンザニアはわずか 48 拠点にとどまっています³。

そこで、今回、まずはタンザニアという国に触れ、ビジネスの可能性を探っていただくことを目的として、タンザニア国スタディツアー（農業分野）を実施することになりました。

2. 目的

- 1) タンザニア国の農業、主にコメセクターにおける農業・農業機械化の現状を幅広い本邦企業の皆さまに知っていただき、現地関係者と情報交換することで、本邦企業のタンザニア進出の一助とする。
- 2) 日・アフリカ農業イノベーションセンター（Africa Field Innovation Center: AFICAT）の実績や役割などを紹介し、本邦企業の AFICAT 活用を促し、本邦企業のタンザニア進出を促進する。

3. 本スタディツアーの対象領域

農業分野全般（主にコメ分野）

² 国際連合（2024）World Population Prospects 2024 – Summary of Result

³ 外務省（2023）海外進出日系企業拠点数調査

4. 想定する参加者

本邦農業資機材メーカー、本邦農業関連企業など

5. 想定する参加人数／最小履行人数

5 名～20 名程度の参加を想定（最小履行人数 3 名）

6. スケジュール

1) 日程

2025 年 6 月 28 日（土）～7 月 6 日（日）8 泊 9 日間

2) 詳細スケジュール

日	行程	宿泊場所及び備考
6 月 28 日（土）	・ 日本発	機内泊
6 月 29 日（日）	・ タンザニア／キリマンジャロで現地集合	アルーシャもしくはモシ泊
6 月 30 日（月）	・ 農業資機材販売店を視察 ・ キリマンジャロ農業研修センター (KATC) を訪問	同上
7 月 1 日（火）	・ ローアモシ灌漑地区（農家、農業機械所有者との面談、圃場視察） ・ 移動	コログエ
7 月 2 日（水）	・ モンボ灌漑地区先（農家、農民組合との面談及び圃場視察） ・ 移動	ダルエスサラーム
7 月 3 日（木）	・ 国際見本市（サバサバ）視察	同上
7 月 4 日（金）	・ JICA タンザニア事務所訪問 ・ タンザニア農業省との協議	同上
7 月 5 日（土）	・ タンザニア／ダルエスサラームで解散	機内泊
7 月 6 日（日）	・ 日本着	

※ 事情により日程および行程を変更する可能性があることをご了承ください。

※ 具体的な訪問先は参加者が確定してから、ご希望を踏まえ調整します。

※ 最小催行人数に達しなかった場合は中止することをご了承ください。

※ オプションとして、6 月 29 日（日）にアルーシャ国立公園日帰りサファリ（アルーシャ市内発着）、7 月 5 日（土）にザンジバル日帰りツアーの実施も予定しております（最小履行人数はそれぞれ 3 名）。参加人数によって参加費は異なります。2024 年 9 月時点、アルーシャ国立公園日帰りサファリは 275 米ドル／人（3 名参加の場合）、ザンジバル日帰りツアーは 300 米ドル／人（3 名参加の場合）程度です。1 日早くタンザニアに到着、或いは 1 日遅くタンザニアを出発することも、ご検討ください。

7. 参加費用

1) JICA が負担する費用

- ① 現地でのアテンド、通訳にかかる費用
- ② タンザニア国内の移動にかかる経費
- ③ 展示会入場料などのイベント参加費用

2) 参加者にご負担いただく費用

上記 7. 1) 以外の費用。以下は主要な例です。参加者ご自身でご手配頂きます。

① 航空賃（出発到着地：日本国内⇄現地（キリマンジャロ空港着／ダルエスサラーム空港発）までの往復航空券）

② 居住地⇄出発到着地（居住地国内の空港）の居住地国内移動に係る費用

③ 旅券・査証取得経費（申請に必要な書類（戸籍抄本など）、写真等の取得経費含む）

※タンザニア入国のための査証取得の方法は、参加確定者に別途ご連絡致します。

④ 海外旅行保険の加入経費

⑤ 必要な予防接種／ワクチン接種にかかる費用

⑥ 現地での宿泊費、食費、通信費など

※ホテルは JICA がまとめて予約し、宿泊費は参加者各自で現地のホテルに直接お支払いいただきます。宿泊先と宿泊料、クレジットカードの使用可否などは、スタディツアー開始 3 週間前までを目途にご連絡します。

⑦ 会議等に必要な日本国内移動に係る費用（オンライン開催を除き、ツアー実施前の事前説明会など物理的に集合する場合を想定）

8. ご応募いただける企業・参加者

1) 日本の企業等（本邦登記法人）であることが望ましい。

2) 3. の領域において、タンザニアを対象としたビジネスを検討していること。

3) AFICAT 利用申込書を提出済、或いは出発 3 週間前までに提出する企業・参加者であること。

4) 参加者は、応募企業の経営陣あるいはタンザニアでの事業展開を担う方であること。

5) 渡航前事前説明会及び現地視察の全行程に参加可能であること（渡航前事前説明会は 6 月 3 日（火）前後を想定）。

6) タンザニア国の事情（道路状況や衛生環境等）を勘案した上で、全行程に参加可能な健康状態であり、JICA の規定する安全対策の行動制限（夜間徒歩移動禁止等）に沿って行動いただけること。

7) ツアー参加に際して海外旅行保険に加入頂くこと。（JICA にて推奨する保険を紹介可）

8) 専門的な用語の通訳のために、事前に資料提供いただく等、準備にご協力いただけること。

9) プログラム参加の意欲・熱意・協調性があること。

10) 7. の費用のご負担と、渡航に係るご準備をご自身で手配頂けること。

11) 帰国後、JICA や業界団体、地元経済団体が開催する国内セミナー等で、タンザニアでのビジネス可能性、企業や日本企業との連携の可能性について情報発信できること（可能な範囲でご検討ください）。

※ツアーでの視察や面談には日英通訳（AFICAT 調査チーム／タンザニア国農業機械化アドバイザーチームのメンバー）が同行致しますが、ホテル滞在や食事時に使う最低限の旅の英会話は必要となります。

9. ワクチン接種

タンザニア入国のため接種が必須のワクチンはありませんが、以下のワクチンを接種することを推奨します。

- 1) 黄熱の予防接種証明書（イエローカード）は必須ではないが、取得済みであることが望ましい。

※黄熱感染国から来る、もしくはその国の空港に 12 時間以上滞在した渡航者は黄熱予防接種証明書を要求されます。

- 2) その他推奨するワクチンは以下を参照ください。

【参考リンク】<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/africa/tanzania.html>

（外務省世界の医療事情（タンザニア））

10. 応募及び実施までの流れ

- 1) 応募方法

参加申し込みフォームより必要事項をご記入ください。

申し込みフォーム⇒<https://forms.office.com/r/ZPHAUbq39s>

応募期限

第 1 次：2025 年 4 月 11 日（金）23:59 まで

第 2 次：2025 年 5 月 30 日（金）23:59 まで（※第 1 次締め切りで募集上限に達しない時のみ）

- 2) 選考について

応募者が定員枠を超えた場合など、JICA 側で参加者を選考させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、選考は下記の応募処理への記載内容を基に行います。

- ① 会社概要
- ② 海外での事業実績
- ③ アフリカで想定しているビジネスの内容
- ④ スタディツアーに期待すること（希望する視察先・得たい情報など）
- ⑤ スタディツアー参加者情報

- 3) 全体スケジュール

日程	内容
2024 年 4 月 11 日（金）	スタディツアー第 1 次応募締め切り
2025 年 4 月中下旬	参加企業発表

2025 年 5 月 30 日（金）*	スタディツアー第 2 次応募締め切り*
2025 年 6 月初旬*	参加企業発表*
＜以下、選考により参加が確定した方のみ＞	
2025 年 6 月 3 日前後	スタディツアーに向けた手続きおよび説明会の実施
2025 年 6 月 28 日（土）～7 月 6 日（日）	スタディツアー実施
2025 年 7 月中旬	スタディツアー報告会

* は第 2 次応募を行った場合のスケジュール。

11. 問合せ先

ご不明点等ありましたら、以下までご連絡ください。

（株）かいはつマネジメント・コンサルティング（AFICAT 調査受託者）

AFICAT 調査チーム aficat.team@kmcinc.co.jp (03-5791-5083)

担当者：魚住、竹田

12. その他

1) ツアー中止や延期の扱い

最小催行人数に満たない場合はツアーを中止致します（2025 年 6 月初旬までに決定）。現地の治安や感染症の状況によっては、やむを得ずツアーのキャンセルや延期が避けられない場合があります。外的要因によるフライトの変更キャンセル料等、準備のためにご負担いただいた費用は JICA では負担しかねますので、ご承知おきください。

2) 参加企業からのツアーキャンセル

参加企業決定後は原則参加をお願いいたします。

※参加者側のやむを得ない事情によりキャンセルされる場合は、現地での宿泊や車両予約、スケジュール調整の関係上、2 週間前にはご連絡をお願いいたします。

※ツアー開催 2 週間前を過ぎて JICA 負担分（車両・イベント参加料等）のキャンセル料金が発生した場合はキャンセル料金を請求させていただく場合があります。

3) 参加者の不正行為防止について

参加者は機構関係者として、独立行政法人国際協力機構役職員倫理規程（平成 16 年規程（人）第 28 号）に基づく「独立行政法人国際協力機構関係者の倫理等ガイドライン」、「JICA 不正腐敗防止ガイダンス」の遵守をお願いします。また、不正競争防止法では、OECD（経済協力開発機構）の「国際商取引における外国公務員に対する贈賄の防止に関する条約」を国内的に実施するために、外国公務員贈賄に係る罰則を定めています。このため、参加者は特に以下の点に留意願います。

- ① 外国公務員等に対して参加者による高額の物品や過大な金銭の提供或いは著しく華美な接待等が行われないこと。

- ② 本ツアーの実施における開発途上国政府関係者への対応に際しては、不正競争防止法第 18 条（外国公務員等に対する不正の利益の供与等の禁止）に抵触しないよう留意すること。

4) 個人情報の扱いについて

- ① 応募書類に含まれる個人情報等は、「[独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 59 号）](#)」に従い、適切に管理し、取り扱います。
- ② 応募書類に含まれる個人情報等は、本スタディツアーの審査、参加決定後の宿泊手配にのみ使用します。
- ③ 応募書類は、JICA が本スタディツアーを運営する以外の目的では一切使用いたしません。